

# 守ろう・造ろう・たいせつな立山の溪流 イワナの人工産卵実験床 (経過報告)

10月22日に造成した「イワナの人工産卵実験床」、気になるその後の様子についてお伝えします。

◆11月17日(月)産卵状況確認。

人工産卵実験床造成から約1ヶ月。産卵確認は紅葉の終わり頃と伺いちょっと遅めの現地調査を行いました。結果は造成した産卵実験床全7ヶ所すべてにおいて残念ながら産卵は確認されませんでした。産卵行動の為に床掘りした形跡は1ヶ所確認されましたが、ほとんどの実験床において砂利に藻が付着・繁殖し、大量の落ち葉で覆い尽くされていました。また、実験床の直下には敷き詰めた砂利が流れ出ていたことから、実験床として利用される場合の水の動きについて理解が必要であると痛感しました。今後はこの結果を元に次年度には産卵床として生かされるよう改善策を検討し、人工産卵実験床の取り組みは継続していきたいと思ひます。しばらくは試行錯誤が繰り返されると思ひますが、イワナの生態や産卵床の造成方法等について学びながら対応していきたいと思ひます。



産卵状況確認の様子。産卵床の様子を見ながら卵の確認をしましたが見つかりませんでした。

その他の産卵実験床の様子。



砂利に付着した藻。

上流から流れてくる落ち葉、枯れ枝も溜まり、少なからず産卵活動の支障になっていると思われる。砂利には藻が付着し、産卵活動の形跡は無く、水の中には緑色の石が・・・

